TOTO

施工・取扱説明書

ポップアップ式排水金具

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意
(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

❗	必ず実行していただく「強制」内容です。

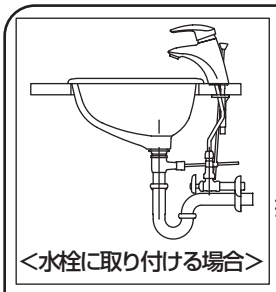
⚠ 注　意

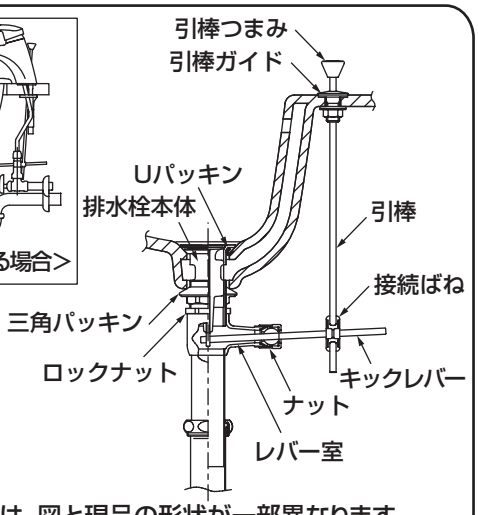
❗ 必ず実行

排水栓本体の外周ねじ部に、メジシールを塗布してください。

ねじ部から水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

2 完成図





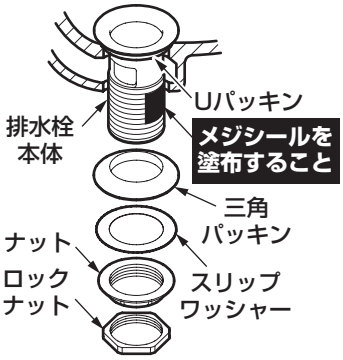
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

3-1 施工手順

1 排水栓本体の取り付け

①メジシールを排水栓本体の外周ねじ部に塗布する。

②三角パッキン、スリップワッシャー、ナット、ロックナットの順に締め付ける。



⚠注意

三角パッキンの方向に注意して取り付けてください。

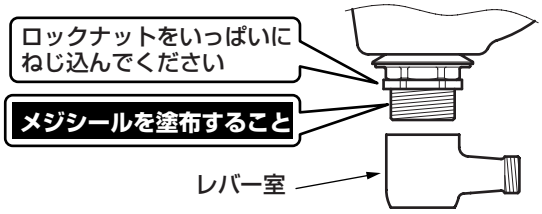
水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

ナットは**三角パッキンの弾性を失わない程度**に締め付けてください。

強く締めすぎると、陶器が破損してけがをするおそれがあります。

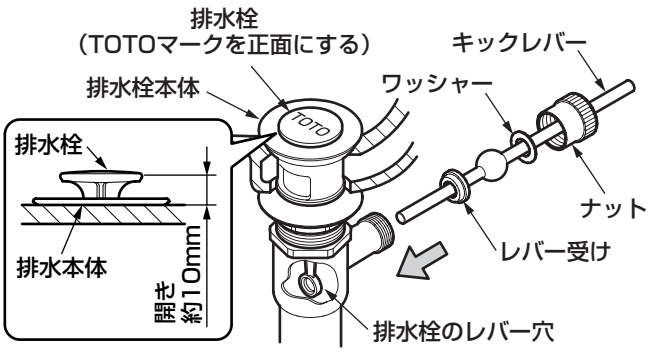
2 レバー室の取り付け

レバー室は止まるまで**いっぱいにねじ込んだあと**、戻しながら方向を合わせる。



3 排水栓とキックレバーの組み立て

①キックレバーを排水栓のレバー穴に通しながら差し込み、ナットを締め付ける。



②キックレバーを押し下げたとき、**排水栓部の開きが約10mm**になっていることを確認する。
開きを少なくしたいときは、レバー室をゆるめて調整する。

注 意

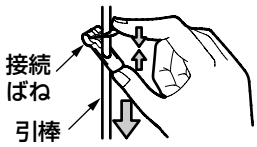
**排水栓の開きを少なくすると、通常より排水する時間が長くなる場合があります。
排水栓の開きが大きくなるよう、レバー室は十分ねじ込むことをお勧めします。**

＜**排水栓にレバー穴がないタイプ**の場合＞

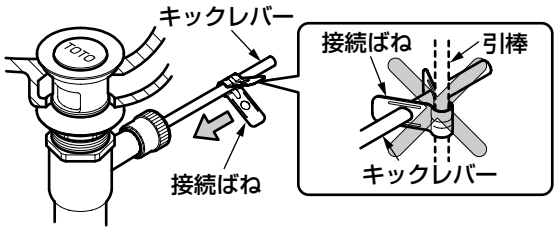
そのままキックレバーをレバー室に組み付け、あとで排水栓を上から落とし込む。

4 引棒の取り付けと調整

①接続ばねの**端面をつまみながら**引棒から接続ばねを引き抜く。



②キックレバーに接続ばねを通す。



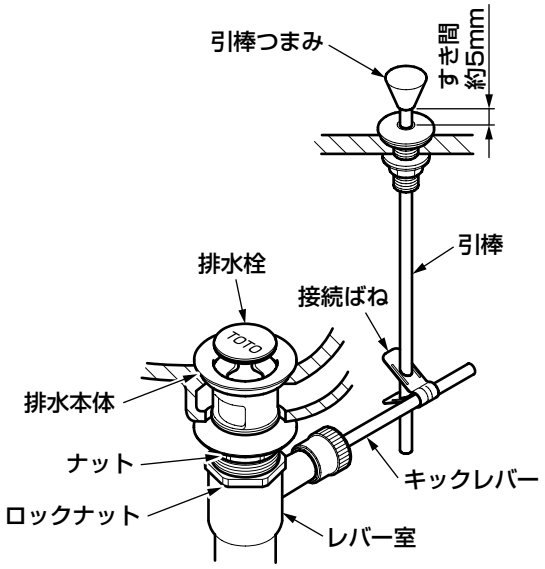
③引棒と接続ばねがうまく接続できるようにレバー室の方向を調整しながら、接続ばねの**端面をつまんで**引棒を接続ばねの穴に通す。

注 意

レバー室を回転させるときは、供回りしないようにナットを工具で固定して調節してください。

④引棒を押し下げたとき、**引棒つまみ部のすき間が約5mm**になっていることを確認する。
すき間を調整するときは、接続ばねの端面をつまんで、引棒の位置を調整する。

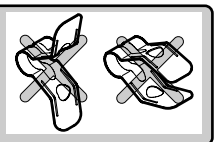
⑤排水栓本体にねじ込んでいるロックナット（つばのないナット）を**レバー室側へ戻し**、レバー室が回転しないように**締め付ける。**



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

注 意

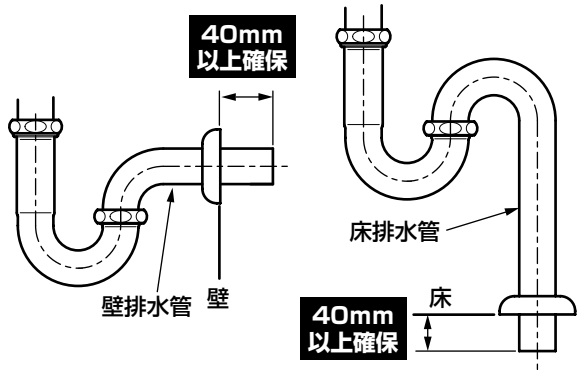
接続ばねを図のように折り曲げないでください。
引棒がずれる原因となります。



5 排水管の取り付け

壁排水管および床排水管は、施工誤差による差し込み不足防止のため、排水管を長めに設定しております。
取付時は差し込み代を40mm以上確保し、パイプカッター・ノコなどで必要な長さに切断して使用してください。

＜壁排水の場合＞　＜床排水の場合＞



4 取り付け完了後の確認

●取り付け完了後は、2～3度操作して正常に作動するか確認してください。

●排水管の取り付けが完了したあと、陶器ボウル面に水を溜めてみて、三角パッキン付近および、各接続部などに水漏れがないか確認してください。

※ゴム栓でない排水栓は、長時間陶器ボウルに水を溜めると、多少水位が下がる場合があります。

5 日ごろのお手入れと点検

⚠ 注　意

必ず実行

定期的(年2回)に、配管まわりの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

美しさを保つために日ごろのお手入れをお願いいたします。

●軽い汚れの場合
水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

●ひどい汚れの場合
適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。

お願い

排水金具の表面を傷つけるものは使用しないでください。
- ●クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ●ナイロンたわし、たわし、ブラシなど

※この説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。